

令和6年第3回定例会一般質問通告事項

	前田孝人議員（潮風おのみち）	質問方式：一括質問方式
9 月 4 日	<p>1 新市民病院について</p> <p>(1) 新市民病院は急性期病床を 62 床大幅削減し、病床規模を 282 床から 220 床とダウンサイジングする。これで上手くいくのか。医師や患者から選ばれる病院となり得るのか。また新病院はどのような病院を目指そうとしているのかデザインが見えないかどうか</p> <p>(2) 病床種別の変更もなくただ尾三圏域で過剰である急性期を大きく削減する。極端に言うと現有の医師三十数人で対応可能な新市民病院をイメージしてデザインしたようにしか見えないかどうか</p> <p>(3) 先だっの病院建設に係わる議員説明会。冒頭で突沖事業管理者から驚くような発言が飛び出した。それは「市民病院に医師を増やすことは難しい」「JA病院には患者をどんどん取ってくれ」であった。これには驚いた。尾道市の病院事業、経営の最高責任者である事業管理者の言葉とは到底思えない。そういう考えであれば 200 億円もかけて新市民病院を建設することもないと思うがどうか</p> <p>(4) 自治体の病院経営で最大の危機は病院の新築であるという意見がある。新病院の建設費はすべて借金である。新病院を運営、経営しながら毎年 3 億 3,000 万円を返済していくという事は大変厳しいものがあるが可能か。事業管理者の決意を</p> <p>(5) 少なくとも事業費の三分の一は自己資金で賄うべきであると指摘をしてきた。そのためには内部留保というか建設積立金として積み立てておくべきである。しかし皆さん方はどこ吹く風であった。その結果が 200 億円全額の借入である。このことについてはどうか</p> <p>(6) 市民、みつぎ両病院を再編統合し、尾道総合医療センターとして運営し、みつぎ病院は不足している回復期リハビリテーション、慢性期に特化することとし、尾三医療圏域で唯一の緩和ケア病棟は維持する事とする。また保健福祉施設は統合、縮小、廃止、外部委託などに踏み出す事とする。両病院の統合について改めて答弁を求める</p>	

9 月 4 日	<p>(7) 病床を 62 床大幅に削減しダウンサイジングするのでもっと事業費を抑えることは出来ないのか。私が主張しているみつぎ病院との再編、統合を実現すれば交付税措置は事業費の 40%つまり 80 億円となり、市民病院単独の新築よりも 30 億円も多くの交付税が措置される。このことについて検討はしたのか</p>
------------------	---